

◆◆ 第91回日本保健医療行動科学学会東京支部研究会のお知らせ ◆◆

日本保健医療行動科学学会東京支部

2012年8月21日

残暑厳しき折ですが、皆様にはお元気にお過ごしのことと存じます。

さて、日本保健医療行動科学学会東京支部では、アクションリサーチの有力な方法論の一つであるソフトシステム方法論（Soft Systems Methodology：SSM）をテーマに研究会を行うこととなりました。

SSMは1970年代にイギリスのピーター・チェックランド教授によって開発され、その後もそれを用いた実践による学びを基に常に進化を続けている、研究と現状改革を同時に進めるアプローチです。わが国においては大東文化大学の内山研一教授により、数字や記号という「モノ」には還元しきれない現場の状況を、人々の実感や思いという「コト」の側から直接扱う方法論として再構築され、現場の当事者の実感ある思いを抜きにはマネジメントが難しい、情報システム構築プロジェクトや多専門職によるチームによるサービス・マネジメント等の分野で広く活用されています。

保健医療の分野においても、看護管理、地域看護、災害看護などの看護領域や作業療法領域で用いられ、現在注目が集まっています。

そこで、大東文化大学の内山研一先生と日本アクションリサーチ協会の鈴木聡先生をお招きし、『現場の学としてのアクションリサーチ - ソフトシステム方法論の日本的再構築 -』（白桃書房 内山研一著）の内容をベースとしたアクションリサーチの理論とその実践について下記の通り講演会を企画致しました。

保健医療分野での実践を踏まえた講演と対話型のQ&Aを通してSSMを学ぶことができる貴重な機会ですので、みなさまのご参加をお待ちいたしております。なお事前の参加申し込みは必要ございません。

1. 日時 : 9月15日(土) 13:00~16:30
2. 場所 : 群馬大学昭和キャンパス ミレニアムホール
(群馬県前橋市昭和町3丁目39-22群馬大学昭和キャンパス 保健学科新棟 2F)
3. 講演とQ&A
 - (1) 理論編 : 90分
ソフトシステム方法論(SSM)ベースのアクションリサーチの理論
 - (2) 実践編 : 70分
ソフトシステム方法論(SSM)ベースのアクションリサーチを用いたアプローチの実際
 - (3) Q & A : 40分
4. 参加費 : 会員200円 会員外500円
5. 問い合わせ先 : 日本保健医療行動科学会東京支部事務局 第91回担当
〒371-8514 前橋市昭和町三丁目39-22 群馬大学 茂木英美子
E-Mail: emikok*gunma-u.ac.jp (*を@に変換してください)
Tel/Fax : 027-220-8818
6. その他 : 講演会の写真撮影、ビデオ録画、音声録音はご遠慮ください。

群馬大学昭和キャンパスへのアクセス



1. バスをご利用の方

① JR前橋駅北口 2 番乗り場（関越交通バス）

群大病院行、群大病院經由南橋団地行「群大病院」下車(所要時間約 15 分)

② JR前橋駅北口 3 番乗り場（日本中央バス）

群馬総社駅行「群大病院」下車（所要時間約 15 分）

③ JR前橋駅北口 2 番乗り場（関越交通バス）

群馬大学荒牧經由渋川駅行、群馬大学荒牧經由渋川市内循環渋川駅行、渋川市内循環渋川駅行、小児医療センター行「群大病院入口」下車（所要時間約 13 分+徒歩 6 分）

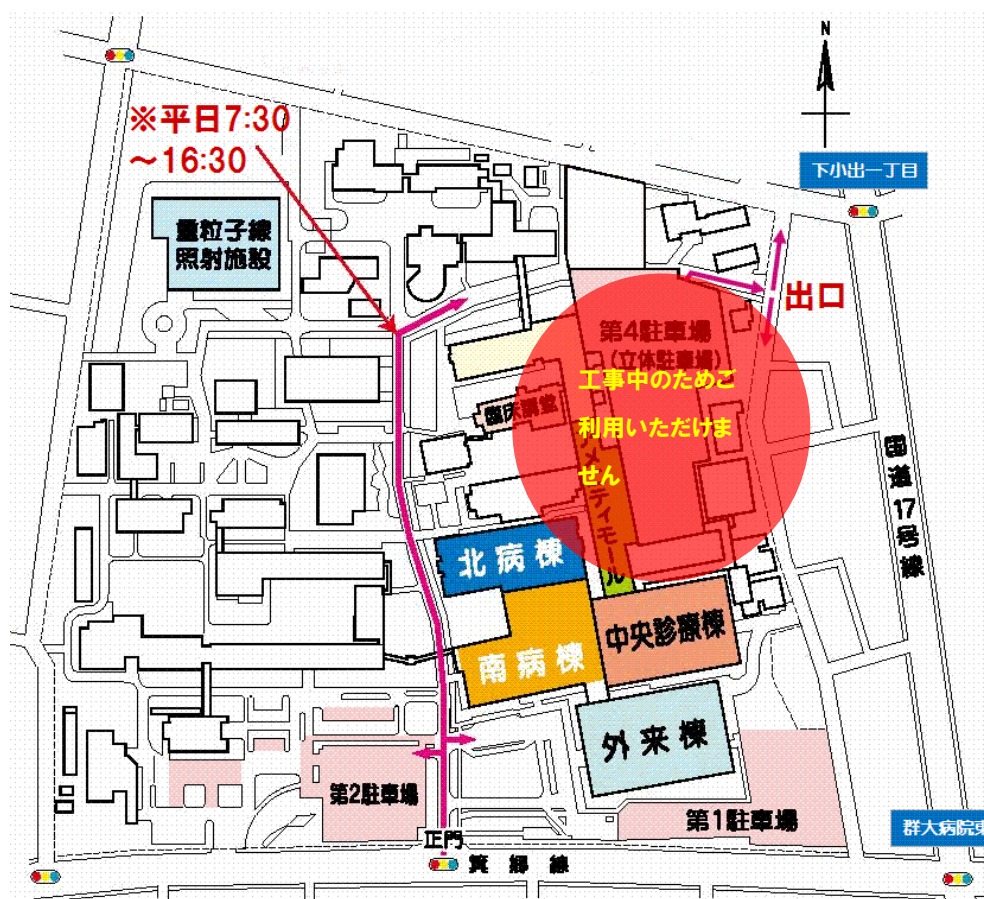
④ JR新前橋駅東口乗り場（関越交通バス）

群大病院行、群大病院・群馬大学荒牧經由総合スポーツセンター行、

群大病院經由群馬大学荒牧行「群大病院」下車(所要時間約 21 分)

総合スポーツセンター行、群馬大学荒牧行「群大病院入口」下車（所要時間約 17 分+徒歩 6 分）

2. お車でお越しの方



◆南側正門から御入構いただき、第 1 もしくは第 2 駐車場をご利用願います。

◆駐車料金 円をご負担いただきます。

保健学科新棟 ミレニアムホールのご案内

